

# 沼津市新市民体育館整備基本構想

平成 25 年 9 月 12 日

沼津市教育委員会



# 目次

<b>I 背景</b>	1 ページ
1 経過	1 ページ
2 上位計画における整備方針	1 ページ
<b>II 現状と課題</b>	2 ページ
1 市民体育館の現状と課題	2 ページ
(1) 市民体育館の施設概要	
(2) 市民体育館の利用状況	
(3) 市民体育館の課題	
2 勤労者体育センターの現状と課題	4 ページ
(1) 勤労者体育センターの施設概要	
(2) 勤労者体育センターの利用状況	
(3) 勤労者体育センターの課題	
3 香陵武道場の現状と課題	5 ページ
(1) 香陵武道場の施設概要	
(2) 香陵武道場の利用状況	
(3) 香陵武道場の課題	
4 その他の課題	6 ページ
(1) 事業面（ソフト面）の課題	
(2) 防災機能面の課題	
<b>III 新市民体育館の整備方針</b>	8 ページ
1 新市民体育館建設の基本的な考え方	8 ページ
2 新市民体育館のコンセプト	8 ページ
3 新市民体育館に導入する機能（施設内容）	9 ページ
(1) 継承する機能	
(2) 新たに加える機能	
4 新市民体育館の施設規模・敷地面積	13 ページ
5 新市民体育館の建設地	14 ページ
(1) 建設地選定の基本的な考え方	
(2) 建設地	
6 今後検討すべき事項	15 ページ

# I 背景

## 1 経過

沼津市では、市民総スポーツを基本理念に掲げ、市民のだれもが気軽に利用できるスポーツ活動と健康づくりの拠点施設として、昭和 48 年に現在の市民体育館を建設しました。この間、市民体育館は、各種競技スポーツの拠点機能を担うとともに、生涯スポーツを通じた市民相互の親睦や交流を深めることなど、豊かで活気ある地域社会の形成において重要な役割を果たしてきました。

近年は、余暇時間の有効活用や健康志向の高まりなども相まって、利用者は毎年 20 万人を超え、利用者のニーズも多様化していることから、より一層の量的・質的な充実が求められています。

一方で、市民体育館は建設後約 40 年が経過し、施設・設備の老朽化が著しく、現在の機能とスペースを維持したままでの耐震補強が困難な状況にあります。

また、市民体育館と同様に、勤労者体育センター及び香陵武道場等についても老朽化が著しく、耐震補強が難しい状況にあります。

こうしたことから、教育委員会では、新市民体育館の整備方針について、平成 24 年 11 月に「沼津市スポーツ推進審議会」に諮問し、同審議及び「沼津市スポーツ施設整備計画推進検討委員会」において様々な角度から具体的な検討が行われ、平成 25 年 6 月に「新市民体育館整備基本構想（案）」の答申を受けました。

また、市議会文教消防委員会においても、同構想（案）について協議され、「新総合体育館を活用したまちづくり」について提言書が参考意見として提出されました。

これら答申・提言を踏まえる中、教育委員会にてさらに協議を重ね、この度、「沼津市新市民体育館整備基本構想」を策定したものです。

## 2 上位計画における整備方針

### □ 第 4 次沼津市総合計画 「スポーツ施設の整備」

各種教室や市民スポーツ大会のみならず、全国レベルの競技スポーツ大会の開催も可能な総合体育館の整備を図ります。

### □ 沼津市教育基本構想 「スポーツ施設の充実」

場所を提供するだけでなく、様々な自主事業をとおして市民スポーツの普及促進を図り、その内容や施設の充実に努力していくことが必要です。

### □ 沼津市スポーツ振興基本計画 「スポーツ施設や空間の整備拡充」

スポーツ施設やスポーツ活動を行うことの出来る場の適正配置や目的に応じた新施設の整備、リニューアルを含めたスポーツ施設の質的向上、スポーツ活動を行える「空間」の掘り起こしなど、快適で安全な施設の整備拡充を進めます。

### □ 沼津市スポーツ施設整備計画 「新総合体育館」

スポーツの振興と健康づくりの拠点となる新しい総合体育館の建設に向けて、調査、研究を進めます。

## Ⅱ 現状と課題

### 1 市民体育館の現状と課題

#### (1) 市民体育館の施設概要

市民体育館は、沼津市制施行 50 周年記念事業として、総事業費約 5 億 5 千万円をかけ建設したもので、昭和 48 年 8 月に完成しました。

所在地：沼津市高島本町1-4	敷地面積：6,096㎡
開館：昭和48年10月2日	建築面積：3,422㎡
構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造 4階建	延床面積：8,123㎡
駐車場：73台(臨時駐車場70台)	
1階：3,179㎡	
第2練習場：417㎡(卓球)	第6練習場：214㎡(トレーニング)
第3練習場：127㎡(ダンス 他)	第7練習場：201㎡(トレーニング)
第4練習場：276㎡(柔道・合気道 他)	健康・体力相談室：50㎡
第5練習場：280㎡(剣道・空手 他)	事務室、食堂、器具庫、シャワー室 他
2階：3,174㎡	
第1練習場：1,939㎡(アリーナ)	研修室、更衣室、シャワー室 他
3階：1,225㎡	
観客室(510席)、会議室、弓道更衣室 他	
4階：545㎡	
第8練習場：466㎡	観客席(430席)、弓道場(近的6人立)

#### (2) 市民体育館の利用状況

体育館事業は、自主事業と貸館事業で構成され、自主事業には、スポーツ振興課主催の体力づくり教室及びトレーニング指導と、NPO 法人沼津市体育協会主催のスポーツ教室があり、スポーツを楽しみながら心の交流を図るとともに、体力向上、健康増進及び技能・技術の向上など、底辺拡大を図っています。

貸館事業は、スポーツ・レクリエーション活動を行う場所を提供することにより、個人利用はもとより、種々のクラブ・サークル・団体など、広く市民に利用されています。

[平成 24 年度利用実績]

区分	目的・種目	利用回数	利用者数
個人利用	卓球	—	25,552 人
	トレーニング	—	47,062 人
	弓道	—	3,445 人
	その他(リズム体操、ダンス等)	—	226 人
	小計	—	76,285 人
	バレーボール	217 回	7,466 人
	バドミントン	517 回	13,059 人

団 体 利 用	バスケットボール	85 回	3,926 人
	テニス(ソフト)	233 回	2,812 人
	卓 球	101 回	11,271 人
	フットサル	342 回	6,193 人
	剣道・居合道	142 回	3,274 人
	合気道・空手・太極拳等	756 回	15,929 人
	その他(リズム体操、ダンス等)	867 回	21,060 人
	会 議 室	－ 回	2,597 人
	小 計	3,260 回	87,587 人
教育委員会主催 (体カづくり教室等)	体カづくり教室(20 教室)	599 回	20,238 人
	トレーニング指導(利用者講習)	87 回	711 人
	体力測定・診断、栄養相談	59 回	169 人
	小 計	745 回	21,118 人
体育協会主催 (スポーツ教室)	スポーツ教室(13 教室)	459 回	10,228 人
	小 計	459 回	10,228 人
	合 計		195,218 人

### (3) 市民体育館の課題

#### ① 建物の耐震性について

- 耐震性能が「ランクⅢ」と診断されており、大規模な地震が起きた際に建物が倒壊する恐れがあります。また、耐震補強するためにはアリーナ部分の撤去が必要となり、現在の体育館の機能を維持できません。

#### ② アリーナ（競技フロア）について

- アリーナ（競技フロア）が狭いため、大規模な競技大会等の開催に支障をきたしています。
- サブアリーナが設置されていないため、複数の競技種目を同時開催する際や、競技選手がアップする際の会場確保等に支障をきたしています。

#### ③ バリアフリー化について

- 建物にエレベーター・多目的トイレ等の設備が設置されていないため、高齢者・障害者・母子等の利用者の利便性に支障をきたしています。

#### ④ 駐車スペースについて

- 駐車場が狭く、駐車台数が少ないため、慢性的に満車状態となっており、来館者の利用に支障をきたしています。
- 大型バスの駐車スペースがないため、大規模な競技大会等の誘致・開催に支障をきたしています。

⑤ その他スペース・付帯設備について

- その他、アリーナの観客席数が少ない、一方向からしか観覧できない、会議室が少ない（監督室がない）、アリーナ器具庫・シャワー室・更衣室が狭い、防音性のある多目的室（ダンスルーム）・空調設備・ランニングコース・キッズルームが設置されていない、食事スペースが少ないなどの問題点があります。

⑥ 多種多様なニーズへの対応について

- 施設・駐車場が手狭であるため、健康づくりや生涯教育の観点から行う体力づくり教室や各種イベントなど、多種多様な市民ニーズに対応できない状況にあります。

## 2 勤労者体育センターの現状と課題

### (1) 勤労者体育センターの施設概要

所在地：沼津市御幸町15-1	構造：鉄骨造 一部2階建
開館：昭和56年4月25日	敷地面積：2,622㎡
駐車場：市民文化センター等と共用	延床面積：1,534㎡
1階：1,283㎡	
体育室：980㎡(アリーナ)	事務室、更衣室、談話コーナー 他
2階：251㎡	
トレーニング室：119㎡	多目的室：95㎡

### (2) 勤労者体育センターの利用状況

地域スポーツの振興や健康増進などを目的として、多くの市民に利用されています。

[平成24年度利用実績]

区分	目的・種目	利用回数	利用者数
個人利用	卓球	—	3,823人
	トレーニング	—	2,812人
	小計	—	6,635人
団体利用	バレーボール	89回	1,553人
	バドミントン	232回	3,249人
	バスケットボール	120回	2,036人
	テニス	123回	749人
	球技大会	47回	8,658人
	その他	237回	10,201人
	小計	848回	26,446人
教育委員会主催 (体力づくり教室等)	体力づくり教室(3教室)	90回	4,039人
	小計	90回	4,039人

体育協会主催 (スポーツ教室)	スポーツ教室 (1教室)	30 回	152 人
	小 計	30 回	152 人
合 計			37,272 人

### (3) 勤労者体育センターの課題

#### ① 建物の耐震性について

- 耐震性能が「ランクⅢ」と診断されており、大規模な地震が起きた際に建物が倒壊する恐れがあります。

#### ② アリーナ（競技フロア）について

- アリーナ（競技フロア）が狭いため、大規模な競技大会等の開催が難しい状況にあります。

#### ③ バリアフリー化について

- 建物にエレベーター・多目的トイレ等の設備が設置されていないため、高齢者・障害者・母子等の利用者の利便性に支障をきたしています。

#### ④ 駐車スペースについて

- 駐車場が市民文化センター等と共用であるため、イベント開催時など慢性的に満車状態となっており、スポーツ大会等の開催に支障をきたしています。

## 3 香陵武道場の現状と課題

### (1) 香陵武道場の施設概要

所在地：沼津市御幸町15-1	構造：鉄骨造 2階建
開館：昭和56年3月25日	敷地面積：1,314㎡
駐車場：市民文化センター等と共用	延床面積：973㎡
1階：682㎡ 柔道場(柔道・合気道・太極拳他)、剣道場(剣道・空手・居合道・なぎなた他)	
2階：291㎡ 弓道場(近的8人立)	

### (2) 香陵武道場の利用状況

市内唯一の武道専用施設として、剣道・柔道・弓道など、子どもから大人まで多くの市民に利用されています。



[平成 24 年度利用実績]

区 分	目的・種目	利用者数
剣 道 場	剣 道	4,381 人
	空 手	693 人
	なぎなた	509 人
	居 合 道	378 人
	そ の 他	6,971 人
柔 道 場	柔 道	6,923 人
	太 極 拳	2,588 人
	合 気 道	821 人
	そ の 他	3,547 人
弓 道 場	弓 道	7,414 人
合 計		34,225 人

### (3) 香陵武道場の課題

#### ① 建物の耐震性について

- 耐震性能が「ランクⅢ」と診断されており、大規模な地震が起きた際に建物が倒壊する恐れがあります。

#### ② バリアフリー化について

- 建物にエレベーター・多目的トイレ等の設備が設置されていないため、高齢者・障害者・母子等の利用者の利便性に支障をきたしています。

#### ③ 駐車スペースについて

- 駐車場が市民文化センター等と共用であるため、イベント開催時など慢性的に満車状態となっており、スポーツ大会等の開催に支障をきたしています。

## 4 その他の課題

### (1) 事業面（ソフト面）の課題

沼津市では現在、スポーツ振興課が主催する「体力づくり教室」、NPO 法人沼津市体育協会主催の「スポーツ教室」に加え、生涯学習課主催のクラブ・サークル等の「自主事業」、健康づくり課主催のウォーキング講座等の「健康づくり事業」、長寿福祉課主催の「筋力アップ教室」など、健康や運動をテーマに各種事業を実施していますが、事業の趣旨や目的は異なるものの、活動内容が重複している事業も含まれています。

今後、より効果的で効率的に各事業を推進していくために事業連携・統合が必要であり、その活動拠点として、市民体育館の多機能化が求められています。

## (2) 防災機能面の課題

現在、市民体育館及び勤労者体育センターは、沼津市地域防災計画において大規模災害時の防災拠点の一つに位置づけられています。

東海地震等の発生に備え、防災備品・食料の貯蔵庫、要援護者の一時避難所、救援物資の集積場所など、防災機能の一層の充実が求められています。

### — 「現状と課題」のまとめ —

#### 1. 老朽化施設・設備のリニューアルについて

- 市民体育館・勤労者体育センター・香陵武道場ともに、建設から30年以上が経過し、施設・設備の老朽化が著しい。
- 市民体育館・勤労者体育センター・香陵武道場ともに、バリアフリー化が不十分。
- 市民体育館・勤労者体育センター・香陵武道場ともに、駐車スペースが不十分。

#### 2. 多様化する市民ニーズへの対応について

- 施設が手狭であるため、健康増進・生涯教育の観点で行う体力づくり教室や屋内イベントなど、多種多様なニーズに対応できない。
- 大規模災害の発生に備え、防災備品・食料貯蔵庫、要援護者の一時避難所、救援物資の集積場所など、防災機能の充実が求められる。

#### 3. 同機能施設・事業の集約と再配置について

- 市民体育館・勤労者体育センター・香陵武道場の機能充実と経費縮減の観点から、3施設の統合が求められる。
- 健康や運動をテーマとする各種事業の連携・協調を図るため、各事業の活動拠点として市民体育館の多機能化が求められる。

## Ⅲ 新市民体育館の整備方針

### 1 新市民体育館建設の基本的な考え方

新たな市民体育館は、「市民体育館」「勤労者体育センター」「香陵武道場」を統合した『健康スポーツ複合施設』として整備します。

### 2 新市民体育館『健康スポーツ複合施設』のコンセプト

市民だれもが、いつでも、いつまでも、いきいきと暮らすことができるよう、本市のスポーツの推進と健康づくりの拠点施設として位置づけるとともに、大規模災害時の防災拠点機能や市民の憩いの場としての機能を併せ持つなど、スポーツ利用者のみならず、子どもから大人まで、多くの市民が気軽に訪れることができるよう、「新市民体育館『健康スポーツ複合施設』を活用したまちづくり」を推進します。

#### 新市民体育館『健康スポーツ複合施設』を活用したまちづくり

##### 1. 競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境

各種競技スポーツ大会を開催するとともに、トップアスリートが参加する大会等を誘致することで、スポーツへの興味や関心を高め、子どもが夢や希望を抱ける環境を整備します。

##### 2. 生涯にわたりスポーツを楽しむ環境

市民総スポーツを目標に、あらゆる年齢層の市民が、それぞれの目的や体力に合わせて、いつでも気軽にスポーツやレクリエーションに親しめる環境を整備します。

##### 3. 健康づくり・体力づくりを推進する環境

生活の中に運動を取り入れ、健康で楽しい生活が送れるよう、運動のきっかけづくりの提供と運動継続のための支援ができる環境を整備します。

##### 4. 様々な側面から市民生活をサポートする環境

大規模災害時の防災拠点施設としての機能や、市民の憩いの場としての機能に加え、十分な駐車スペースの確保やユニバーサルデザインの採用など、様々な側面から市民生活をサポートする環境を整備します。

### 3 新市民体育館『健康スポーツ複合施設』に導入する機能

前項で示した「4つのコンセプト」の実現に向けて、新総合体育館「健康スポーツ複合施設」に導入する機能（施設内容）は、現在の市民体育館・勤労者体育センター・香陵武道場の機能を整理・集約した上で継承するとともに、健康づくり・体力づくりや防災対策などの新たな機能を加えたものとします。

#### (1) 継承する機能

##### ① メインアリーナ

全国・県大会など大規模な競技スポーツ大会、地域コミュニティや団体が開催するスポーツ大会やレクリエーション、全天候型の大規模空間を活用した屋内イベントの開催、大規模災害時の防災機能など、多種多様なニーズに対応したメインアリーナ（バスケットコート4面程度）を設置します。

- ◇ コンセプト1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」
- ◇ コンセプト2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」
- ◇ コンセプト4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

##### ② サブアリーナ

メインアリーナの補完施設として、また、勤労者体育センターの代替施設として、小規模なスポーツ競技大会、大規模なスポーツ競技大会の第2会場、地域のコミュニティや団体が開催する小規模なスポーツ大会やレクリエーションが開催できるよう、サブアリーナ（バスケットコート2面程度）を設置します。

- ◇ コンセプト1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」
- ◇ コンセプト2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」
- ◇ コンセプト4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

##### ③ 武道場（畳敷き）

柔道・合気道など各種競技大会の開催や練習道場のほか、生涯スポーツとして武道を楽しむことができるよう、畳敷きの武道場を設置します。

- ◇ コンセプト1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」
- ◇ コンセプト2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

##### ④ 武道場（板張り）

剣道・空手・なぎなた・太極拳・居合道など各種競技大会の開催や練習道場のほか、生涯スポーツとして武道を楽しむことができるよう、板張りの武道場を設置します。

- ◇ コンセプト1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」
- ◇ コンセプト2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

## ⑤ 観覧席

プロスポーツや全国・県大会など大規模な競技大会の試合観戦、地域のコミュニティや団体が開催するスポーツ大会やレクリエーションの観戦などのため、アリーナ・武道場に観覧席を設置します。また、来場者が快適に観戦できるように、観覧席（アリーナ）に空調システムを設置します。

◇ コンzept1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」

◇ コンzept2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

## ⑥ 弓道場

弓道競技大会の開催や練習場、生涯スポーツとして弓道を楽しむことができるよう、弓道場（近的）を設置します。

◇ コンzept1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」

◇ コンzept2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

## ⑦ トレーニング室

スポーツ競技者の体力・筋力アップに加え、生活習慣病の予防や運動不足の解消など、だれもが気軽に体力・筋力アップができるよう、各種トレーニング機器を備えたトレーニング室を整備します。

◇ コンzept3「健康づくり・体力づくりを推進する環境」

## ⑧ 更衣室（ロッカールーム）・シャワー室等の付帯設備

大規模なスポーツ競技大会の開催時に加え、多くの市民が日々施設を利用する際にも快適に利用することができるような更衣室（ロッカールーム）・シャワー室等の付帯設備を設置します。

◇ コンzept1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」

◇ コンzept2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

## ⑨ 卓球場

生涯スポーツやレクリエーションとして卓球を楽しむことができるよう、卓球場を設置します。

◇ コンzept2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

## ⑩ 健康・体力相談室

生活習慣病の予防や運動不足の解消など、新たに運動を始めようとする人のための運動プログラムや栄養相談などを行う健康・体力相談室を設置します。

◇ コンzept3「健康づくり・体力づくりを推進する環境」

### ⑪ 会議室・研修室

新市民体育館に監督室（選手控室）を設置するとともに、隣接する市民文化センターの会議室（11 部屋）との一体的な利用を図ることで、十分な会議・研修スペースを確保します。

◇ コンzept 4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

### ⑫ 駐車スペース

新体育館の利用者に加え、隣接する市役所・市民文化センターについても、十分な駐車スペースを確保する必要があることから、市営香貫駐車場・市民文化センター駐車場との一体的な駐車スペースの整備を図ります。

◇ コンzept 1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」

◇ コンzept 2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

◇ コンzept 4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

## （2）新たに加える機能

### ① ランニングコース

トレーニングやウォーミングアップのため、メインアリーナ上部を囲む屋内ランニングコースを設置します。

◇ コンzept 1「競技スポーツ大会を開催・観戦できる環境」

◇ コンzept 2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

### ② 多目的室（ダンススタジオ）

ダンス・バレエ・エアロビクスなど各種教室に使用するため、大音量の音楽使用にも対応した多目的室（ダンススタジオ）を設置します。

◇ コンzept 2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

◇ コンzept 3「健康づくり・体力づくりを推進する環境」

### ③ キッズルーム（子どもトレーニング室）

乳幼児や児童が、安全に遊びながら基本的な運動能力を養うことができるよう、ボールプールやアスレチックなどを備えたキッズルーム（子どもトレーニング室）を設置します。

◇ コンzept 2「生涯にわたりスポーツを楽しむ環境」

◇ コンzept 3「健康づくり・体力づくりを推進する環境」

### ④ ラウンジスペース（ランチルーム）

スポーツ利用者のみならず、多くの市民がくつろぎ、交流することができるよう、ラウンジスペース（ランチルーム）を設置します。

◇ コンzept 4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

⑤ **健康づくり・体力づくり機能に対応した事務スペース**

健康づくり・体力づくりを推進する上で、健康づくり課（保健師）等の関係課との連携・協力が大変重要となるため、これに対応した事務スペースを設置します。

◇ コンzept 3「健康づくり・体力づくりを推進する環境」

⑥ **防災機能**

東海地震等の大規模災害に対応するため、防災備品・食料貯蔵庫・自家発電設備等を設置します。併せて、要援護者の一時避難所や救援物資の集積場所として、アリーナや武道場等を使用することを考慮に入れた施設にします。

また、断水時にも使用可能なトイレの設置に努めるなど、常に清潔で安心して利用できるよう、衛生面に配慮した施設とします。

◇ コンzept 4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

⑦ **ユニバーサルデザイン**

スポーツ利用者のみならず、すべての利用者の利便性に支障をきたすことのないよう、ユニバーサルデザインを採り入れます。

◇ コンzept 4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

⑧ **エコデザイン**

自然採光・換気や、太陽光発電・省エネルギー機器の設置に加え、屋上・壁面緑化を検討するなど、地球環境に配慮した施設整備を図ります。

◇ コンzept 4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

⑨ **その他**

スポーツ利用者のみならず、多くの市民が訪れ、交流することができる憩いの場となるよう、隣接する市民文化センターと一体となった敷地整備を図るとともに、内装に木材を採用するなど、温かみのある施設整備を図ります。

◇ コンzept 4「様々な側面から市民生活をサポートする環境」

## 4 新市民体育館『健康スポーツ複合施設』の施設規模・敷地面積

前項で示した「新市民体育館に導入する機能」を前提とした施設規模・敷地面積を次のよう想定します。

延床面積の想定：15,720㎡（現3施設の合計：10,630㎡）

建築面積の想定：9,720㎡（現3施設の合計：5,401㎡）

敷地面積の想定：14,720㎡（現3施設の合計：10,032㎡）

### ① 競技スポーツ機能（主なもの）

名称	新市民体育館	(参考)現3施設		
		市民体育館	勤体センター	香陵武道場
アリーナ	3,000㎡程度	1,939㎡	980㎡	—
武道場(観覧席を含む)	800㎡程度	556㎡	—	549㎡
ランニングコース	700㎡程度	—	—	—
弓道場	500㎡程度	466㎡	—	291㎡
観覧席(可動席含む)	1,900㎡程度	648㎡	—	—

### ② 生涯スポーツ・健康づくり機能（主なもの）

施設名	新市民体育館	(参考)現在の施設		
		市民体育館	勤体センター	香陵武道場
アリーナ	1,000㎡程度	1,939㎡	980㎡	—
多目的室(ダンススタジオ)	200㎡程度	127㎡	—	—
トレーニング室	500㎡程度	415㎡	119㎡	—
卓球場	500㎡程度	417㎡	88㎡	—
健康・体力相談室	150㎡程度	50㎡	—	—
キッズルーム	200㎡程度	—	—	—

### ③ その他の機能（主なもの）

施設名	新市民体育館
監督室・選手控え室	400㎡程度
ラウンジ(ランチルーム)	200㎡程度
ロッカールーム・シャワー室	300㎡程度
事務スペース	200㎡程度
防災用備蓄倉庫	150㎡程度
トイレ	550㎡程度



## 5 新市民体育館『健康スポーツ複合施設』の建設地

### (1) 建設地選定の基本的な考え方

新市民体育館の建設地は、本構想で示した基本コンセプトを実現できる場所であるとともに、先に実施した市民アンケートの結果、市スポーツ推進審議会の答申、市議会文教消防委員会の提言を踏まえた場所とします。

### (2) 建設地

上記「建設地選定の基本的な考え方」に基づき、新市民体育館『健康スポーツ複合施設』の建設地は、現在の「香陵運動場（香陵公園）」とし、効率的な施設配置を行うこととします。

現 況	香陵運動場（香陵公園） 沼津市御幸町 15-1
敷地面積	16,321㎡
用途地域	近隣商業地域・第一種住居地域（都市計画公園区域内）
立地条件	沼津駅から約1.2km
利点・効果	(1) 交通アクセスに優れ、敷地が広いことから、基本コンセプトに示した機能を備えた複合施設として建設が可能となるとともに、将来にわたる当市の健康増進・スポーツ振興の拠点として適地である。 (2) 市中心部に新たな賑わい拠点が創出され、駅南地区の回遊性の向上につながることから、中心市街地の活性化に寄与する。 (3) 隣接する市役所・市民文化センターとの相乗効果による施設活用度の拡大と駐車場の共有等により、効率的な施設運営が図られる。 (4) 津波浸水区域に近接しており、市庁舎と一体となった大規模災害時の防災拠点としての役割を担うことができる。

## 6 今後検討すべき事項

新市民体育館『健康スポーツ複合施設』の整備を進めるにあたり、次の事項を引き続き検討し、課題等を整理した上で、整備基本計画を策定するものとします。

### (1) 代替機能の確保

新市民体育館『健康スポーツ複合施設』の整備に伴う、香陵運動場（香陵公園）の代替機能の確保に向けて、関係団体との調整等を行う必要があります。

### (2) 財政負担の軽減

市の財政事情に鑑み、整備費の縮減に努めるとともに、国庫補助金・民間資金等を活用することで、市の財政負担の軽減を図る必要があります。

### (3) 効果的・効率的な事業運営

新市民体育館『健康スポーツ複合施設』を拠点として、健康・スポーツ関連事業をより効果的・効率的に運営していくために、市の各部局で実施している同種事業の統合・連携を図るとともに、民間のノウハウの活用等による官民の役割分担について検討する必要があります。

#### [ 新市民体育館の位置図 ]



